

井原市公共交通会議（令和7年度第9回）議事録

と き 令和8年3月26日（木）

15:00～

ところ 井原市民会館 鏡獅子の間

1. 開 会

会議の成立を報告

- ・ 出席者 委員24名中21名

2. 大舌会長あいさつ

3. 協 議

1) 第2期 井原市地域公共交通計画の策定について

- ・ 事務局より資料1、1-2について説明

(会長) 第2期井原市地域公共交通計画30頁の「基本方針1くらしを支える公共交通」、「施策1-2ニーズに対応した公共交通の見直し」に対応する事業の実施時期について、令和8年度は分析をして、令和9年度は順次見直しを検討と記載してあるが、見直しの実施時期はいつ予定しているのか。

(事務局) 全てに対応できるかわからないが、実現可能な見直しについては順次対応していきたい。

(委員) 同ページの事業3つ目「利便性の高いダイヤ編成・乗り継ぎ時間の調整」について、小学校の統合に伴う影響は含まれているのか。

(事務局) 今後の検討状況に応じて対応したい。

(副会長) 30頁の実施時期については、順次見直し検討から「検討」の表記を除いてはどうか。

(事務局) 記載内容について調整したい。

(委員) 同計画15頁の「③公共交通を利用しない理由」について、「家族等が自動車で送迎をしてくれる」という選択肢があるが、家族の中には高齢者同士で暮らしている世帯もあると思われる。

公共交通を使ってもらうためには、公共交通かわら版等を活用して具体的な利用例を紹介してほしい。

(事務局) 令和8年3月号の公共交通かわら版にも公共交通の利用案内を記載しており、今後も具体的な例を紹介・発信していきたい。また、窓口や電話等で聞いてもらえれば、公共交通の利用方法や利用例を提案できるので、このことも各地域に広めてもらいたい。

(委員) 同計画35頁の「基本方針2未来を繋ぐ公共交通」、「施策2-3運転手

不足への対策及び交通事業者への支援」に対応する事業①「自動運転技術の活用及び導入（調査・研究）」について、対応するレベルや期間等ほどのような想定なのか。

(事務局) 自動運転技術に関する事業について、計画期間中で研究を進めて、知識や情報を共有していきたいと考えている。そのため、現時点では具体的な運行ルートは示すことができないが、将来的な運転者不足等の懸念等から調査・研究の必要性があるため計画の事業に設定した。

(委員) 委員の皆様から積極的に意見をいただけたことで非常に良い計画ができたと思う。今後検討する公共交通サービスの見直しについて、内容によっては公共交通計画に紐づく事業計画として「地域公共交通利便増進実施計画」の策定により、補助金の要件の緩和等のメリットもあるため、今後検討いただきたい。

(会長) 原案の通り承認しても良いか。

【1）協議事項承認】

2）令和7年度井原市公共交通会議補正予算（案）について

・事務局より資料2について説明

(会長) 原案の通り承認しても良いか。

【2）協議事項承認】

3）国庫補助事業の変更認定申請について

・事務局より資料3について説明

(会長) 原案の通り承認しても良いか。

【3）協議事項承認】

4. 報告

1）井原市地域公共交通計画の実施状況について

・事務局より資料4について説明

(副会長) 数値指標について「バスの待合環境や乗務員の接遇に満足を感じている人の割合」と「公共交通を利用したお出かけの頻度」の計画策定時の現状値に「初年度に把握」と記載されているが、初年度の数値を教えてください。

(事務局) 初年度に該当する令和2年度を含めた令和2年度から令和4年度までは、コロナ禍の影響によりアンケート調査自体が実施できていない。令和5年度に行ったアンケート調査について「バスの待合環境に対する満足度」は

25%で「乗務員の接遇に対する満足度」は45.5%であり、令和5年度と令和7年度の調査を比較すると満足度は上昇している。一方で、令和5年度の「公共交通を利用して週3日以上外出している人」の割合は2.5%で、普段公共交通を利用していない人の回答が多かったことから、令和6年度以降の調査については、公共交通を日常的に利用している高校生等を中心にして回答を募集したが、調査方法の適切性については再度検討の必要があると考えている。

- (会長) 各事業者から何か話題があれば提供をお願いしたい。
- (委員) 燃料費が高騰しており、国からの補助によって多少安定してきているものの、企業経営として考えると乗合バスよりも貸切バスを運行した方が良いと思うこともある。乗合バスを優先して運行しなければならないが、対応を検討していきたい。
- (委員) 4月1日の改定で運賃の値上げを予定している。昨今の人口減少及び少子高齢化等、路線バス事業を取り巻く環境がより一層厳しくなっており、加えて燃料費の高騰や人員確保に向けた待遇改善等に対応するためにも、基運賃を改定することとなった。今後、初乗り運賃は160円から190円になる。物価高によって支出が多くなる中、利用者にとって運賃値上げの影響は大きいと思うところだが、地域に根差した公共交通を維持していくためにもご理解いただきたい。
- (委員) また、定期券割引率の改訂も予定しており、既に学校等にも案内を行っている。
- (委員) 今後のタクシー車両の燃料確保について心配しているところだが、報道等を注視して、状況に応じて対応していきたい。
- (委員) あいあいカーの受付センターについて、新しく若い職員が入社して対応をしている。一生懸命に受付対応しているので、皆様に協力いただきながら教育していきたい。
- (委員) 計画の事業にもなっている SNS やインターネット等での周知について、SNS を見ていると井原市のどんぶりキャンペーンの PR 動画・広告が表示されることがあり非常に印象に残っているので、公共交通でも活用できたら良いと思った。日の丸タクシーでもインスタグラムを定期的に投稿しているのでぜひ見てほしい。
- (委員) 燃料費の高騰や人材の確保が大きな課題で、求人の反応が大きい3月～4月の時期でも苦慮している状況である。また、全国タクシー協会では人材不足打開のため、全国のジョブステーションにタクシー乗務員に特化した求人サイトを立ち上げる等して、乗務員確保の努力をしている。
- (委員) 特に女性の乗務員が不足しており、働き方や職場環境の改善等を通じて人材確保に努めていきたい。
- (委員) 子どもや家族での利用促進を図るため、親子ペア 2,000 円で井原線全線を1日乗り放題で利用できる「親子割フリーきっぷ」を4月1日から発売す

る。車社会のため公共交通を利用したことがない子どもが多いという話も聞いており、鉄道の利用経験を持ってもらう機会に活用してもらいたい。また、この企画乗車券は阪本鶏卵とコラボした卵の殻を再利用した切符を使用する予定で、環境にも配慮した取組を行っている。

4月1日から土日祝日限定、全線乗り放題で利用できる「スーパーホリデーパス」やJRと連携した井原線、吉備線、伯備線が1日乗り放題で利用できる「井原・岡山周遊パス」も発売しているので、市内～市外間の移動に活用してもらいたい。

計画にもあった公共交通間の乗り継ぎについては、現在も試行錯誤しながら協力いただいているところだが、上手に連携できればより多くの人の利用に繋がると思う。

(委員) 情報発信について、井原市の取組状況として発信側の目標は達成できているが、受信側がどれくらいいるかということも非常に重要な視点である。観光等のプロモーションにおいては情報発信回数に加えて、リーチ数やインプレッション数も指標になるため、どれくらいの人目に触れたか調査できるのであれば把握してもらいたい。

(事務局) 2月2日から井原市の公式LINEアカウントがリニューアルし、900人程登録者が増えたと聞いている。LINEの登録については、担当部署から発信・推進していくことになるが、今後はアンケート調査等にも活用できると考えている。

(委員) 燃料費の高騰について、国の補助制度や価格推移等の動向に注視して、県としても対応していきたい。燃料費高騰の影響は特に自家用車を利用する人にとって大きいですが、計画では公共交通の乗り合わせの推進や周知・拡充していく旨が記載されているので、今まで公共交通が選択肢に入っていなかった人にも幅広く効果的なアプローチができればよいと思う。本年度、岡山県では公共交通全体の方針として、「岡山県地域公共交通ビジョン」を策定した。岡山県としても人材確保等に課題を感じており、市町村や交通事業者の取組を支援・強化していきたい。

(委員) 公共交通を利用しない理由は家族等による送迎の割合が大きく、その中には高齢者同士の送迎もあるのではないかという話もあった。警察署の窓口で話を聞くと、美星町や芳井町からご家族に送迎してもらって免許更新をしている人もおり、年に数回程度しか運転しない人には免許返納を勧めているが、9割は返納しないと回答している。

あいあいカーについては、地域の人に利用されている印象を持っているので、引き続き周知・PRに取り組んでももらいたい。警察としても協力して周知していきたい。

(委員) 若い職員の方があいあいカーの受付対応をしていたり、女性の乗務員の方が勤務しやすいように工夫されたり等、交通事業者の皆さんの話を聞いて素晴らしいと感じた。

(委員) 久々に井原鉄道を利用する機会があり、切符の買い方を忘れてしまっていたが、駅員の方に優しく親切に対応してもらった。接遇の満足度が上がっているという報告もあったが、全体的な交通事業者への評価も上がっていると思う。

(委員) いかに気持ちよく利用していただけるかを心がけている。本日いただいたご意見についても社員に伝えたい。

5. 閉会

(副会長) 次期計画については、会議の回数を重ねて非常に良いものになったと思うが、最終的には計画に掲げられた内容が実現することで「良い計画」になると思うので次年度から事業に取り組んでほしい。本会議は様々な立場で意見交換ができており、県内の公共交通会議の中でもとても良い会議だと感じている。年度末のお忙しいところお集まりいただき感謝申し上げます。

以上